



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:http://okayarc.org・E-mail:okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2602 回例会 2013 年（平成 25 年）2 月 5 日（火）

点 鐘：宮坂 伸 司 会：小口泰史
 斉 唱：君が代・奉仕の理想 唱 和：四つのテスト
 ラッキーNo.：No. 27 林 広一郎
 皆 勤 祝：藤森陸美 44 年・小松正二 36 年・矢島 實 28 年
 誕 生 祝：矢島 進・林広一郎・太田博久・山岸邦太郎
 表 彰：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 大口寄付 尾関秀雄
 ポール・ハリス・フェロー 中村文明
 米山功労マルチプル 7 回 尾関秀雄



誕生祝

会長挨拶

皆様こんにちは。又寒くなって参りました。御身体お気をつけください。
 さて少し古い話で恐縮ですが今年の1月 15 日のある新聞 1 面に、大きく「中国好戦ムード」とあり
 びっくり致しました。中国人民解放軍を指揮する総参謀部が全軍に対し、2013 年の任務は「戦争
 の準備をせよ」と指示を出していたとのこと。尖閣問題等に対する一連の外交カードにすぎないと
 思うものの穏やかではありません。一方その裏紙面には「中国の大気汚染深刻」ともありました。す
 でに死者も多数出ており外出を控えるよう警告も出ているとの事です。その原因はインターネット
 では旧日本軍の化学兵器だとか、訳のわからない情報が飛び交っているとのこと。今日の新聞で
 は水産資源の乱獲が話題になっていました。何とかまともな国になってほしいものです。新聞には
 もっと穏やかな心温まるニュースが数多く掲載されるような世の中になってほしいものです。
 これから地区協が開催されます。当クラブだけは穏やかな心もちで一致協力お願いいたします。



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー大口寄付表彰
 挨拶 尾関 秀雄 会員

来年度がガバナーの年になりますので、糧になればと
 寄付をさせていただきました。

皆様にもご協力いただければ嬉しいです。



幹事報告

- ・ I M 2/17(日)ホテル紅や 12:30 受付・13:00 点鐘
 ホテル紅やから送迎バスが出ます。送迎バス 上諏訪駅西口 12:15 頃発
 JR=行き岡谷発 11:56→上諏訪着 12:07 帰り上諏訪発 19:48→岡谷着 19:59

委員会報告

R 情報広報委員会 「ロータリーの友」2月号 特集・世界理解月間

- ◆ 5頁～12頁 世界に目を向ける
- ◆ 13頁～21頁 VOICES for PEACE 平和を求める声
- ◆ ②頁～⑥頁 チェルノブイリ原発事故のその後と福島 松本市市長 菅谷 昭



卓話「小布施」まちづくりの秘密」

小林 純一 会員

1. テーマ選定理由

- ・人口12,000人の小さな町に年間120万人もの観光客、特にリピーターが多く来ている小布施町。テレビや雑誌でもいろいろと紹介されている、人を惹きつけるまちづくりの秘訣を、お勧めスポットを交えてご紹介したいと思います。

2. 小布施町の紹介

面積 19.07 平方キロメートル 東西 5.7km 南北 4.8km 周囲 20.4km
人口総数 11,400 人 (男: 5,509 人 女: 5,891 人) 総世帯数 3,715 世帯
キャッチフレーズ「栗と北斎と花のまち」 栗、リンゴ、ブドウ等の果樹生産が中心

3. 成功のキーワード

【結論】

- 葛飾北斎
- まちなみ修景事業
- 栗菓子
- 交流=おもてなしの精神
- コンパクトシティ
- 住民が積極的に街づくりに取り組んできた

(1) 葛飾北斎と高井鴻山 → 核となる施設の設定へ

- ・現在の小布施堂、榭一市村酒造場の血筋で豪農、豪商で、資金的にも裕福であった文化人、高井鴻山が83歳の葛飾北斎を小布施に招き入れ、アトリエを建て、資金援助した。
- ・1976年に作品の保管、海外への作品の散逸を阻止すべく「北斎館」を開館させた。
→これといった観光資源のなかった小布施町を人気観光地に押し上げる原動力となり、ピークは年間38万人以上が訪れる町のシンボル施設となった。

(2) まちなみ修景事業 → 画一的な再開発の手法をとらなかったこと

※行政に一方的に期待するのではなく、住民が積極的に街づくりに取り組んできた事例

- ・昭和56年～62年にかけて北斎館周辺を整備する「町並み修景事業」が町と小布施堂の民・官コラボレーションによって行われた。
- ・キャッチフレーズは「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」。住む人の利便性と訪れる人たちを和ませる空間、両方に配慮した落ち着いた町並みにした。土壁、茅葺、瓦屋根、木造等素晴らしい職人の技術を残し技術を伝承するのも目的。
- ・その後も行政は、町並み保存、景観づくりの条例により乱開発を防いできた。

・一昨年からは、北斎館周辺ゾーンと異なるもう一つの核となる修景事業として第二期修景事業が実施され、伊那食品の「かんでんぱぱ」が出店。

(3) 栗菓子屋 → 栗菓子の製造・販売から飲食、文化事業に展開

・栗菓子の歴史は200年以上。小布施町には、9つの栗菓子屋があり、大手は、レストラン、美術館、喫茶店とそれぞれが個性を生かして楽しい町のイメージを定着させた。

(4) 交流の精神 → 「小布施人=お客様をおもてなしする気風」

◎イベントが多い 町民&ボランティアが飛び回って楽しんでいる

1/14~15 「安市」（だるま市） 小中学校も休校

7月海の日 「小布施見にマラソン」 全国でも人気のハーフマラソンで各町がボランティアで応援。8000人を超える参加者。

7月 小布施音楽祭 世界的にも有名な音楽家の出演

8/12 お花市(桜塚観音)

11月 北信濃小布施映画祭

毎日曜日 栗どっこ市 農産物、おぶせ牛乳の直販

◎町外からの「移住者」が活躍できる町

「セーラ・マリ・カミングス」 (現小布施堂、榎一市村酒造場取締役)

・榎一市村酒造場の再構築、酒蔵を改築したレストラン「蔵部」の立ち上げ、オブセッションの主催等、小布施まちづくりの立役者。

・日経ウーマンの「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2002」大賞受賞

【オブセッション】

小布施で毎月一回、ゾロ目の日に催されるイベント。各界で先駆的な仕事をしている旬の講師を招き講演を楽しんだ後、おいしい小布施の料理とお酒を楽しみながら、出会いを重ねる会。

過去の講師：茂木健一郎 野中ともよ 大林宣彦 小泉武夫 藤巻幸夫

鍵山秀三郎 花堂純次 玉村豊男 等々

「花井裕一郎」 元まちとしょテラソ館長

・2009年には小布施町立図書館立替に伴い、民間から館長を募集の館長に立候補し当選。「まちとしょテラソ」を作る

【まちとしょテラソ】

「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」を柱に 交流と創造を楽しむ文化の拠点として建設。

「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2011」の大賞、「死ぬまでに行ってみたい世界の図書館15」の6位に選ばれた

「小布施町新規就農プログラム」

・小布施で農業に就きたい人を全国から募り選抜試験を実施し、合格者はまず研修生として2年間を送り、その後半独立、完全独立に至るまでサポートしてくれる。

住居費や生活費の面倒まで見てくれるので安心して町外からIターンできると評判。

◎おもてなしの気風 → オープンガーデン

・修景事業の定着とともに、各家庭でも「景観」を意識して日常生活に「花」を取り入れ、花との生活を楽しむ家が増えてきた。更にはそれを来訪者に開放し、花を介して人と人との交流を深める「オープンガーデン」が2000年スタート。当初の38軒から現在では130軒近いお宅が庭を公開している。

◎世代を超えた交流 →「小布施まちづくり研究所」

- ・東京理科大学工学部建築学科と町が「小布施まちづくり研究所」を2005年に立ち上げ。大学生と町民、小学生参加のワークショップが評判。「水路を探検しよう」「結ぼう！かやぶき屋根づくり」「作ろう！僕らの土壁」「町遺産発見！町歩きワークショップ」

◎「小布施まちづくり会議」

- ・これからの日本や地方・地域のあり方に関心を持つ高校生から35歳までの若者を全国から公募し240名が参加。小布施町を具体例に地方が抱える課題を議論し、解決のアイデアをプレゼン。同時に町民宅にホームステイし、地方暮らしの魅力を体験。プレゼン入賞アイデアは実用化し、地元企業や町制で採用。
- ・そこに参加した慶応大学生が「ハピキラ FACTORY」を企業。小布施堂コラボ「かのこっくり」という新商品をバレンタインデー向けに発売。

4. どうしてもご紹介したい小布施のスポット

- 「小布施鈴花」 JR九州新幹線やたま電鉄等で話題のデザイナー水戸岡鋭治氏が設計した景観、調度品に拘った会席料理割烹
- 「小布施温泉 穴観音の湯」 北信五岳が一望できる日帰り温泉
- 「栗の木テラス」 小布施栗を使ったモンブランが有名
- 「文屋」 小布施の出版社。伊那食品の塚越会長の「いい会社を作りましょう」「わもん 聞けば叶う」「世界一のパン チェルシーバンズ物語」
- 「小布施ワイナリー」 100%国産ぶどう使用 全日空ヨーロッパ線のファーストクラスで当社赤ワインが選ばれた 試飲もできます
- 「泉石亭」 桜井甘精堂の和食レストラン そばと栗おこわが楽しめる信濃御膳が有名 風流な日本庭園が眺められる落ち着いたお座敷も予約可。5月まで改装中。

ニコニコボックス

小林純一 初めての卓話になります。よろしくお願いいいたします。

牛山幸一・梅垣和彦・太田博久・小口成人・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・小野仁・北澤洋之助・北村正春・小松正二・佐伯克己・佐藤有司・白鳥修次・杉田隆夫・高木昭好・竹村一幸・中畑隆一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・林尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫・守屋麻里・薩摩 建 小林純一会員、本日の卓話を期待しています。山岡正邦・山岸邦太郎 創業月です。

出席報告

会員数47名、出席者39名、出席率78.72%、前々回訂正95.04%

2012-2013 年度 R I テーマ
奉仕を通じて
平和を

